



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : [kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp](mailto:kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp)

## 目次

校内研修支援のひろば	1
学力を高める授業のポイント	2
生徒研究発表会（12月10日）のお知らせ	4
研修講座から	6

## 校内研修支援のひろば

### 校内研修支援って何？

**1年間  
いつでも  
受付中**

研修講座の繁忙期は  
お受けできない  
場合があります

**全職員や  
教科会など  
学校ニーズに  
対応**

少人数でも、近隣校との  
合同でも

**選べる  
便利な  
メニュー表**

メニューの  
のほかに  
対応できます

**研修費・  
旅費は  
原則無料**

一部 材料費等を  
実費負担いただく  
場合があります

**センター専門主事が学校に出向き支援いたします**



### 実際に行われた校内研修

「学力向上につながる家庭学習とは」「アクティブ・ラーニングで深い学びを目指す」「算数の授業づくり」「タブレット端末を活用した授業」「よい板書とは」「授業のユニバーサルデザインを進めるために」「発達障がいへの理解と支援」「合理的配慮について」「Q-Uの活用について」「ネット社会の現状とトラブルへの対応」・・・

専門的な最新情報が得られる教職員の研修を、放課後の時間に、手軽に開くことができます。研修計画の一つに、センターの校内研修支援をぜひどうぞご利用ください。

# 学力を高める授業のポイント



トモニ先生

授業で扱う定着問題では多くの児童・生徒が正答し、力がついているように感じているんだけど、単元末に確認テストを行うと予想以上に定着していないことが多いんだよなあ。より確実な定着を目指すには、授業ではどんなことに注意していくといいのかなあ。

## 算数・数学 編



つなぐ先生

定着問題（プラスワン）を必ずやらなくてはならないとあせってしまい、「まとめ」をおろそかにしている授業を見ます。トモニ先生は「まとめ」の時間に十分な時間をかけていますか？



そう言われれば、定着問題でつける力がきちんとついたかどうかを見とどけたいという思いが強く、しっかりまとめないまま定着問題を与えていることがあるなあ。



定着問題も大事ですが、それ以上に大切にしたいのが、1時間の授業で学んだことを、児童・生徒が自分自身で振り返り整理する「まとめ」の時間です。その際に、獲得した知識・技能とともに、解決に活用した数学的な見方や考え方も児童・生徒にまとめるように促しましょう。「まとめ」の時間で、学習内容がより確実になったり、より発展的に考えていく視点が生まれてきたりします。定着問題（プラスワン）は、「まとめ」がしっかりできてこそ意味をもちます。

ミガコ先生はどんなことを意識して定着問題を用意していますか？

定着問題としては、教科書にある問題を使うことが多いです。だから、今まで定着問題について、どんなことを意識するのか深く考えたことがあまりありませんでした。



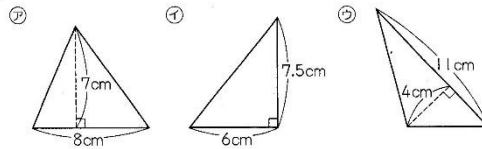
ミガコ先生



ミガコ先生のように話す先生はけっこう多いのかもしれませんがね。定着問題はつける力が評価できる問題にしましょう。例えば、三角形の面積の公式を導く場面があります。公式にあてはめて面積を求めることは児童にできてほしいですが、三角形の底辺や高さといった要素をきちんと意識して公式を使っているかも評価したい大事な点ですね。教科書に下記のような問題があります。底辺や高さを正しく認識して公式を使っているかどうか評価できそうですか？

まとめ 三角形の面積を求める公式  
三角形の面積＝底辺×高さ÷2

⑤ 次の三角形の面積を求めましょう。



う～ん。底辺や高さのとらえが不十分で、単に図形の中にある2つの数量をかけて2でわっているような児童がいるかもしれないですね。そういう児童のつまずきに、この問題では気づけないと思います。



定着問題では、教科書にある問題を参考にしながら、つける力が児童・生徒にきちんとついたかどうかを評価できる問題を工夫しましょう。つける力をきちんと評価し、教師自身の授業改善に結びつけていきましょう。

その時間にどのような数学的な考え方をを用いて、どんな知識・技能を獲得したのかを、児童・生徒が自分自身で振り返る「まとめ」の時間を1時間の中に確実に位置付けましょう。

定着問題（プラスワン）は、つける力がきちんと評価できるような問題を用意しましょう。つける力が評価できる定着問題を考えることは、授業のねらいの明確化にもつながります。同学年・同教科の先生方との同僚性を発揮し、授業改善に向けた定着問題づくりに取り組んでみたらいかがでしょうか。

# 生徒研究発表会

農業・工業・商業・家庭・福祉で学ぶ高校生が  
学習成果の発表・作品展示・販売を行います

日時 12月10日(土)

9時15分～13時40分

会場 長野県総合教育センター



見学は自由です。

皆さまのご来場を  
お待ちしております。



# 生徒研究発表会(12月10日)のお知らせ

## 日程 (開会식을9時15分より行います)

	発表時間	学校名	学科名	テーマ	
スピーチ発表	9:30	上伊那農業	農業	Dear Deer ～里山発の新しい特産品～	
	9:42	上田千曲	工業	回転パーサライターの製作	
	9:54	赤穂	商業	やっちゃえ赤穂!プロジェクト について	
	10:06	佐久平総合技術	農業	和牛農家3代目の挑戦 (意見発表)	
	10:18	木曾青峰	工業	産官学連携による樽桶を題材とした地域産業の活性化の研究報告	
	10:30	飯田OIDE長矩	工業・商業	モノづくりとビジネス	
	10:42	エクセラシ	福祉	里山で生じている問題について研究報告 No.2	
	10:54	駒ヶ根工業	工業	農業ハウスのIoT接続による未来型農業への試み	
展示・実演・販売等① 11:05 ～ 11:45	中野立志館 駒ヶ根工業 南安曇農業	長野工業 飯田OIDE長矩 穂高商業	屈代南 下伊那農業 池田工業	上田千曲 塩尻志学館 松商学園	諏訪実業 松本工業 エクセラシ
スピーチ発表	11:45	池田工業	工業	プロジェクションマッピング	
	11:57	小諸商業	商業	“農作物を通して学ぶ” 株式会社 アバンティと連携した授業の取組	
	12:09	須坂園芸・須坂創成	農業	「Vision」 (意見発表)	
	12:21	佐久平総合技術	工業	『めっき研究』～「めっき」によるものづくりとめっき被膜内の潜在力(応力)～	
	12:33	松商学園	商業	松商学園商業科、ビジネス情報技術部の取組	
	12:45	丸子修学館	福祉	総合研究報告 全盲の農家が経営する「ノゴ園	
12:57	富士見	農業	富士見ミツパチタウン化計画Part7		
展示・実演・販売等② 13:20 ～ 13:40	展示・実演・販売等 ① と同じ学校が行います。				



### ～ 昨年の様子 ～

高校生の能力・可能性を感じさせていたきたいへん感動しました。



内容の濃い発表会でした。高校生の活躍を、もっと多くの方々に見に来て頂けると良いと思います。

それぞれの特色を生かした発表が聞けて良かったです。息子(中2)の進路の参考にさせていただきます。

高校生の若々しい発表がとても良かったです。それぞれの特色があって楽しめました。将来が頼もしく感じます。中学生がもっと大勢聞きに来れば良いと思いました。



主催 長野県総合教育センター 後援 長野県産業教育振興会

## 研修講座から

### 高校における主権者教育～有権者として求められる力をつける指導のあり方～（6月13日）

この講座は授業協力校の田川高校を会場に、次の2点を講座のねらいとして実施されました。

- (1)主権者教育について、高校における主権者教育のあり方について理解を深める。
  - (2)有権者になるための公民的資質を高めるための指導のあり方について講義と実践発表を通して学ぶ。
- <講座内容>

実践発表「高等学校における主権者教育の取り組み」 穂高商業高等学校 教諭 田中 聖子  
主権者教育モデル授業「投票先を考えよう」 明治大学文学部 特任教授 藤井 剛  
講義「高等学校における主権者教育のあり方」 明治大学文学部 特任教授 藤井 剛  
講義「長野県教育における主権者教育について」 長野県教育委員会教学指導課 指導主事 市川 格

#### ◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・生徒たちが主役として、自分の考えを発表できる場面づくりを提供できるかが大変重要なのだと感じた。
- ・テーマや手法が分かりやすく自身がディベートを取り入れる際にぜひ参考にさせていただきたいと思った。
- ・生徒が選挙について真剣に考える、大変大きな一歩になる効果的な授業だと思った。
- ・主権者教育を進めていくうえで、いろいろ分からなかったことが分かってよい機会になった。
- ・校内でどのような点に注意していけばよいか知ることができた。



### 複式指導の授業づくり～少人数の良さを生かす～（8月25日）

この講座のねらいは、次の3点です。

- (1)本県の少子・人口減少の現状を理解し、今から準備することの必要性を知る。
- (2)実践事例から、具体的な取組の方法について理解する。
- (3)演習を通じて、自校で取り組めそうな事を具体的にイメージする。

<講座内容>

実践発表 「複式指導による学び合い」 飯田市立上村小学校 教諭 小林 裕行  
講義 「複式指導の在り方」 静岡県浜松市立熊小学校 教諭 川島 悦代  
講義・演習「少子・人口減少社会における学びの創造」  
信州大学学術研究院教育学系 教授 伏木 久始

#### ◆◆◆感想の抜粋◆◆◆

- ・少人数であることが、教育活動の中でハンディではなく、発想によってはメリットがあることをあらためて知り、良いアイデアを得られた。
- ・本校で使えそうな用具や方法など、とても勉強になった。活用していきたい。
- ・たくさんの具体例や資料を示してもらったので、どのような指導が自分のクラスにあうか想像しやすかった。
- ・海外ではあえて複式指導を選んでいることに驚いた。
- ・小規模校だからこそできる授業や活動を大切にしながら子どもたちの教育を行っていききたいと思った。



川島先生の発表資料から